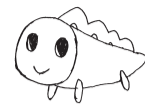


広報 すぎなみ

Suginami

“好き”を追い掛けていたら  
「なみすけ」が  
生まれました。



区の公式キャラクターとして、幅広い世代に愛されている「なみすけ」。その生みの親が五味由梨さんです。現在はグラフィックデザイナーとして商品のパッケージやお店のロゴなど、新しいものを創り出している五味さんに、「なみすけ」に込めた思いや子ども時代のこと、夢を持つことの大切さなどを伺いました。



支えあい共につくる  
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

6/15  
令和元年(2019年)  
No.2256



特集

すぎなみピト

五味由梨

Contents — 主な記事 —

6 | 区の財政状況をお知らせします 7 | 区民等の意見提出手続きの結果をお知らせします 10 | 6月23日～29日は男女共同参画週間です

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

# “夢”を味方に付けると、未来は どんどん広がっていきます。



絵を描くことが誰かの喜びに。一生の仕事にしたい。

—子ども時代のことを教えてください。

絵を描くことが大好きでした。壁いっぱいクレヨンで描いちゃったりすると、母が壁の一部に白い紙を貼ってくれて「ここは描いていいよ」って言うてくれました。あと、おもちゃを色や大きさ順に並べたり、友だちと空想ごっこをして、ここが海ってことにしようって設定を作ったり。考えながら手を動かして、形にするのが好きな子どもでした。

—デザイナーになると決めたきっかけ、後押しとなった言葉は？

「好きなことを仕事にすると楽しい」という考えの両親で、私がいかに熱心に絵を描くので、父が「デザイナーという仕事があるぞ」って教えてくれて。小学校に入ると、「勉強もした方がいいんじゃないか」と言われるようになったので、ずっと絵を描いていても怒られない大人になるにはどうすればいいかを考えたりしていました。



文化祭の原画のアイデアスケッチと完成したポスター

美術の世界に進むことを決意したのは中学3年生のとき。文化祭のポスターに入れる絵を描きました。他にもうまい人がいたので、選ばれないと思っていたのですが、選ばれたのがうれしくて。私が描くことを待っていてくれる人がいる。そのときに、美術を学んだ先に仕事があると気がきました。

使う人を第一に、自分らしさをプラス。

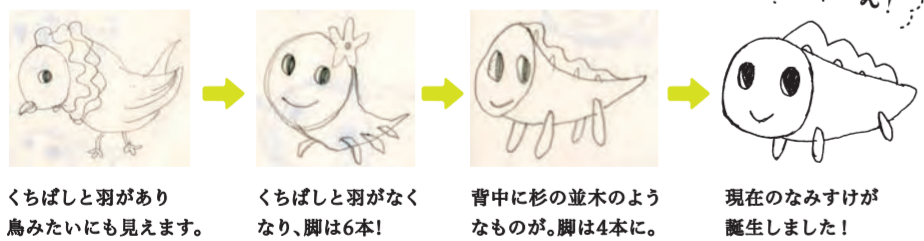
—なみすけが生まれたきっかけ、五味さんが託した思いはなんですか？

「広報すぎなみ」に公募のことが載っていて。学校の課題はどんなに一生懸命やっても提出したら終わり。世の中に残るものを作りたいと考えていたので挑戦することにしました。杉並木を背中に背負わせることを思いつくまでは難産でしたね。学校の課題をやりながらずっと考えていたり。

なみすけを20歳の妖精にしたのは、ひとりで杉並にいるという設定なので5歳じゃかわいそうかと(笑)。子どもでも大人でもない、いろいろなことを学びながら素直に生きている生き物にしたかったのかも。仕事がうまく進まないときになみすけを見ると、こういう仕事もしたんだって励まされたり、お母さんになった友人に「親子でファン」と言ってもらえるとうれしくなります。



なみすけ誕生前のラフスケッチ



くちばしと羽があり鳥みたいにも見えます。くちばしと羽がなくなり、脚は6本!背中に杉の並木のようなものが、脚は4本に。現在のなみすけが誕生しました!

—この先、なみすけにどうなってほしいですか？

長く愛されるキャラクターでいてくれたらいいなと思っています。杉並って、なみすけのようなのんびり屋さんでゆったりした生き物が平和に暮らせるままだと思っていて。杉並らしい温かさがずっと続いてくれることを願っています。

—なみすけを世に出した後、変わったことはありましたか？

学生の頃からデザインの仕事に携わることができ、経験を積む中で、自分



## すぎなみビト × 五味由梨

プロフィール: 五味由梨 (ごみ・ゆり) グラフィックデザイナー。杉並区生まれ。美術系の大学在学中、なみすけで「すぎなみのアニメキャラクター」最優秀賞を受賞。大学院在学中にイギリスへ留学。卒業後はデザイン事務所に勤務。家族の転勤により中米のエルサルバドルに滞在した後、現在はフリーランスのグラフィックデザイナーとして活躍中。

が納得できるものを作りたいという思いが生まれました。人が使うものや見るものをデザインする仕事なので、商品を送り出す人の思いとか使う人の使い勝手とか安全性を大切にしながら、その上で楽しいとか役立つとか、プラスアルファのあるものを作れたらいいなと。

好きなものにのめり込む。それが夢を見つける近道。

—夢をかなえるための五味さん流の方法とは？

なりたいたいものを先に決めて宣言しちゃう(笑)。なりたいたいものを早く見つけると、それだけ早く自分に足りないものが見えてくるので、じゃあこの学校へ行こうとか、どこで働いてみようとか、常に計画しながら前に進むことができたかなと。万が一、その仕事に就けなくても、日々、もがいていればきつともっと自分に合う仕事が見つかるのではないのでしょうか。私もデザイナーとしてまだ勉強が必要ですが、自分が心から学びたいと思っているときは、同じことを習っても身に付く量が全然違うと思います。

—海外の経験が豊富とのことですが、そこから得たものを教えてください。

家族や友人との旅行も楽しいですが、一人で現地にドンとぶつかっていき、そのとき自分ができていることが見えてくる。列車で向かいに座った地元の人に現地の言葉を教わったとか、なんとなくたどり着いた先の人々との交流とか。デザインは人のことを考える仕事なので、人々と触れ合った経験は、大きな糧になっていると感じます。現地の空気の中で本物の風景やアートを見ることも、とても勉強になりました。インプットを増やすことで自分の引き出しも増え、アイデアのパリエーションも豊かになりましたね。

—夢を探している子どもたちへのメッセージをお願いします。

夢が決まらないのは困ったことじゃなくて、まだ知らない職業もたくさん

あります。例えば「これが好き」というものを友だちとの交流や勉強の中から見つけてみるのはいかがでしょうか。本が好きだったら読みまくってみるとか。作家になれなくても本に関する仕事ってたくさんありますし、詳しいものがあるとそれは強みになる。マニアックなことを突き詰めているとその世界が好きな人たちが自然と集まって友だちも増えていきます。好きなことにのめり込むことが夢を見つけるための一番の方法だと思います。



アートディレクション、デザイン、イラスト制作など、五味さんの仕事は多岐にわたる。  
a. 中米での生活を機にデザインした「エルサルバドルシキ」 b. コーヒーショップのロゴマーク c. 東京藝術大学のイベント告知チラシとポスター d. 繊細なタッチで描かれたリアリティーあふれるイラスト

抽選で5名様

五味さん直筆なみすけ入り!

なみすけグッズプレゼント!

応募方法

はがき・Eメールでご応募ください。  
★締め切り日=6月30日(消印有効)

【対象】区内在住・在勤・在学の方【記入要領】①郵便番号・住所②氏名③年齢④「広報すぎなみ」の「すぎなみビト」で取り上げてほしい人【宛先】〒166-8570杉並区役所広報課広報係 koho-suginami@city.suginami.lg.jp ※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。※ご応募の際に得た個人情報は、プレゼントの発送にのみ使用します。【問い合わせ】広報課

「なみすけグッズ」販売中!

区役所中棟1階ロビー「コミュかるショップ」ほか

すぎなみ学倶楽部をチェック!



あっ!ここにも まちで大活躍のなみすけたち!



今回のロケ地は?

東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム

アニメの原理が体験できる参加型展示や、人気アニメなどのコンテンツに焦点を当てた企画展など、さまざまな形でアニメを楽しんでいただけます。  
●上获3-29-5杉並会館3階 ☎3396-1510

YouTubeで配信!

広報紙には掲載していない貴重な映像を紹介しています。ぜひお楽しみください。

すぎなみビト MOVIE

「五味由梨さん」のすぎなみビトのインタビューが動画でも楽しめます。右の2次元コードからご覧いただけます。



杉並区公式チャンネル